

## 平成18年度 第36回九州中学校バスケットボール競技大会 記録速報

日 時	平成18年8月7日(月) 13時30分開始		
会場名/コート	佐賀県立総合体育館 Aコート		
試合項目	男子 決勝		
Aチーム	41	$\left. \begin{array}{l} 10 - 18 \\ 9 - 11 \\ 8 - 15 \\ 14 - 15 \\ - \end{array} \right\} 59$	Bチーム
姪浜中学校 (福岡県)			木屋瀬中学校 (福岡県)

長身を活かした木屋瀬中#15園の連続シュートでゲームスタート。ディフェンスは姪浜中マンツーマン、木屋瀬はプレスとマンツーマンの変則的なディフェンス。オフェンスでは木屋瀬中は#15園の長身、#17玉井のスピード、#12占部のジャンプ力が光った。姪浜中は#11山崎のボールコントロールの巧さと#7の俊敏性の高さが目立った。両校ともスピードを活かしたプレイを展開したが18対10木屋瀬中リードで第1クォーターを終えた。

木屋瀬中は第2クォーターにはいると左右に大きく振るパスを多用し、姪浜を崩しにかかる。一方、姪浜中は小さく鋭いパスとスピードのあるドライブからのシュートで身長の不利益を克服しようと頑張っていた。特に#7堀江のシュートは目を見張る物があった。オフェンスが目立つ両校だが、ディフェンスも簡単にあきらめず、29対19木屋瀬中リードで前半を終えた。

後半開始12秒でディフェンスを頑張っていた姪浜中#8古賀が5ファールで退場。しかし、#11山崎の的確なパスからの速い攻撃を仕掛け粘りを見せた。

木屋瀬中はプレスディフェンスを使い、リードを広げ44対27木屋瀬中リードで第3クォーターを終える。

第4クォーター、木屋瀬中は2-2-1のプレスでスタート。姪浜中は負傷で退場していた#7堀江をコートに復帰させ1-2-1-1のプレスを使い果敢に逆転を狙うが、59対41で木屋瀬中の勝利。

高さスピードを兼ね備えた木屋瀬の全国大会での活躍に期待したい。

Aチーム 福岡市立姪浜中学校(福岡県)							
No	選手名	PI-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	中下 隼 登					0	
5	安 永 元 樹	(x)		1		2	2
6	志 手 直 哉	(x)		1		2	0
7	堀 江 彰 文	(x)	5	2	1	20	2
8	古 賀 賢 一 郎	(x)		1		2	5
9	石 田 純 也					0	
10	荒 木 和 将	x		1		2	0
11	山 崎 翔	(x)		2	3	7	3
12	横 瀬 雄 大					0	
13	大 田 哲 進					0	
14	南 俊 太 朗					0	
15	花 田 A 真 平	x		2		4	1
16	吉 村 暢 高	x		1		2	0
17	幡 本 優 生					0	
18	古 賀 弾	x				0	0

Bチーム 北九州市立木屋瀬中学校(福岡県)							
No	選手名	PI-in	3P	2P	FT	得点	ファウル
4	近 藤 和 也					0	
5	森 田 和 紀					0	
6	長 谷 場 祐 二	(x)	1	2		7	1
7	白 木 拓 弥					0	
8	有 田 昌 樹	x				0	0
9	玉 井 友 也					0	
10	蔵 前 徹					0	
11	大 和 倫 矩					0	
12	占 部 賢 人	(x)		2	2	6	3
13	松 尾 大 樹	(x)		2		4	0
14	鶴 原 英 悟					0	
15	園 幸 樹	(x)		12	1	25	3
16	篠 原 有 人					0	
17	玉 井 勇 気	(x)		6	5	17	3
18	小 田 祐 介					0	